

このリリースは、兵庫県政記者クラブ、神戸市政記者クラブ、神戸経済記者クラブ等に配布されます。

赤穂化成株式会社
一財) 神戸みのりの公社

記者資料提供 (令和3年4月21日 15:00)

赤穂化成(株)・(一財)神戸みのりの公社 包括連携協定調印

赤穂化成株式会社（以下「赤穂化成(株)」という）と神戸ワイナリーを運営する一般財団法人神戸みのりの公社（以下「みのりの公社」という）は、令和3年4月21日に互いの経営資源を活かし、循環型農業の促進や商品開発などを視野に、包括連携協定を結びましたのでお知らせいたします。

■調印式内容

- 開催日時 令和3年4月21日（水） 14:30～
開催場所 神戸ワイナリー（農業公園）大ホール（神戸市西区押部谷町高和 1557-1）
参集者 赤穂化成(株)：代表取締役社長 池上良成、
代表取締役専務執行役員 池上幸志 他
みのりの公社：理事長 大崎 克英 他
その他 調印式閉会后、園内ワイン畑で両社代表による施肥を実施します。
※調印式の写真等は、下記までお問合せいただければお送りいたします。

■連携に至る経緯

『神戸ビーフに合うワイン』をコンセプトに神戸ワイナリーを運営してきたみのりの公社では、近年、飲食業界などで流行する「塩で味わうビーフ」の流れを受けて、『ワイン塩』の商品化を模索していました。以前より循環型農業の実践において連携関係にあった飲食店『くいどうらく』が懸け橋となり、くいどうらくと同じ赤穂市坂越で製塩事業を営む赤穂化成(株)とのマッチングが実現。塩づくりを組織基盤とする赤穂化成(株)では調味事業以外に、海水に含まれるミネラルを健康食品分野や農業分野に活用する研究を進めており、ワイン用ブドウの栽培や醸造に活用できるといった研究結果を有していました。ワイン塩の製造以外にも互いのスキルやノウハウを活かすことで、よりよいモノづくりにつながることで認識され、連携を強化していくこととなりました。

【取材のお申込み・お問合せ】

一般財団法人 神戸みのりの公社 経営管理課（河野・中野）
TEL：078-991-3912（9:00～17:00） Email：info@kobewine.co.jp